

## 平成29年度施策に関する外部評価結果一覧

三 川 町

分類番号	施策項目	外部評価結果
11-1	母子保健の推進	概ね良好
所見	特定不妊治療の実績が増えていることから、金銭面での支援が進んでいるものと考えられるので、さらに精神面でのフォローについても検討していただきたい。また、平成31年度までに設置するとされている「子育て世代包括支援センター」の体制整備や人材確保の取り組みをさらに進めていただきたい。	
11-2	ゆとりある子育て環境の整備	概ね良好
所見	子育て支援医療給付の対象を高校生まで拡大することを検討していただきたい。また、子育て支援センターに専門職配置の充実など、さらなる事業の推進に取り組んでいただきたい。	
12-1	生きる力を育む学校教育の推進	概ね良好
所見	特別な支援を必要とする児童・生徒のニーズに対応するため、各種支援員を配置するなどのきめ細やかな町の対応については、今後も継続していただきたい。 育英奨学資金については、三川町の意欲的に勉学しようとしている学生にとって魅力ある制度であり、有効に活用してもらうためにも周知方法について検討していただきたい。 学校施設整備については、昨今の異常気象による熱中症予防の観点から、小・中学校への空調（冷房）の設置を国の補助も取り入れながら今後の課題として検討を望む。	
12-2	地域との連携による教育力の向上	一部改善が必要
所見	新興住宅やアパートの開発により転入者が増加している中、学童保育の希望者数と受け入れ体制が不均衡になりつつあるようだ。子育て交流施設整備事業と併せて、学童保育支援員を確保する手法について町と運営協議会が一体となって検討していくことを期待する。	
13-2	健康づくりの推進	概ね良好
所見	みかわ健康マイレージチャレンジ事業に取り組む町民が増え、健康づくりに対する意識が高まっているので、さらに意識高揚につながる取り組みを推進していただきたい。	
13-3	高齢者福祉の充実	一層の拡充が必要
所見	高齢者の意識や活動機会の多様化により、老人クラブ連合会に加入するクラブ数の減少が続いているが、高齢者組織のあり方等を含め、支援の強化が必要である。また、寿賀のつどいの開催時期については、これまでの経過を十分踏まえ慎重に検討していただきたい。	
13-5	障害者福祉の充実	一層の拡充が必要
所見	それぞれの障害者のニーズや状況に沿った支援が必要であり、特に18歳以上の障害者を家族送迎する場合の燃料費の助成に対する要望に対して、事業実施に向け検討していただきたい。	
13-6	援助を必要とする個人や家族の自立支援	概ね良好
所見	事業の継続とさらなる周知を図っていただきたい。	

分類番号	施策項目	外部評価結果
14-1	自主活動につながる社会教育の推進	概ね良好
所見	<p>社会教育団体等活動推進事業における全国大会等出場者への支援は、活動者にとって有効な支援策であるが、さらなる事業効果の向上につながるよう事業の周知と申請手続きの簡略化に努めていただきたい。</p> <p>また、子育て交流施設整備事業については、学童保育所の新たな活動拠点となることから早期の開設を期待したい。</p>	
14-2	スポーツ・レクリエーションの振興	一部改善が必要
所見	<p>スポーツ全般を通して、関係団体や町内会体育部長との交流が希薄化してきている状況から、町民体育祭等のイベントに対する町民の参加意識が低下しているように見えるため、町としての対応策を期待したい。</p> <p>町民体育館をはじめとする体育施設について、安全かつ利便性の観点からも、危険箇所等については点検・修繕を早急に対応していただきたい。また、施設維持管理の面から施設利用料の設定について増額の見直しなど検討が必要と思われる。</p>	
14-3	芸術文化の育成・継承・活用	概ね良好
所見	<p>秋まつりのイベントは毎年趣向を凝らして開催しており、入場者が増えたことは評価できる。また、展示等については町民の作品の発表の場でもあり、今後も同様に継続していただきたい。</p> <p>文化交流館「アトク先生の館」の入館料については、施設維持管理の面から考えても有料化を検討しても良いのではないかとと思われる。</p>	
15-1	資源循環型社会の構築	一層の拡充が必要
所見	<p>ごみ減量化のためには各世帯からの協力が不可欠であり、減量化対策の啓発活動を強化するとともに、資源ごみのリサイクルが進むよう回収拠点の増設を検討していただきたい。</p>	
15-2	親しまれ愛される自然環境の保全	概ね良好
所見	<p>森林の無い本町においても、県産木材の積極的な活用について啓発活動を行っていくべきである。</p>	
15-3	限られた資源の有効利用	概ね良好
所見	<p>地球温暖化防止対策については、今後もグリーンカーテンの設置などの各種取り組みを継続するとともに、町民に対する意識啓発活動を継続すべきである。</p>	
16-1	快適で利便性の高い居住環境の整備	概ね良好
所見	<p>住まいづくり支援事業のうち、特に住宅取得支援、住宅リフォーム支援等の事業が好評であり、町内定住及び移住定住の促進を図るためにも事業を継続していく必要がある。</p>	
16-2	魅力ある公園や緑地の整備	一部改善が必要
所見	<p>かわまちづくり整備事業が、国との連携により円滑に進められるよう一層の整備要望を行うとともに、事業内容や進捗状況等を住民に対して積極的に情報提供していくべきである。</p>	

分類番号	施策項目	外部評価結果
17-1	交通網の充実	一層の拡充が必要
所見	側溝整備により道路冠水が解消された地区がある一方で、排水等に支援をきたしている箇所もあることから、抜本的な解決策を含めた事業推進を行う必要がある。また、災害に強い高速交通網の整備に向けてさらなる事業促進を図っていただきたい。	
17-3	住宅の安全性や安定したライフラインの確保	一部改善が必要
所見	地域住民生活の安全安心を確保するため、引き続き防雪対策に取り組むべきである。また、空き家対策では、補助制度の見直しも必要であるが、問題意識の低い所有者に対する啓発活動を行っていく必要がある。	
17-5	住宅の安全性や安定したライフラインの確保（下水特会）	概ね良好
所見	排水路等の整備は進んでいるが、下水道への接続がなされていない家庭もあり、生活環境の改善のためにも引き続き未接続家庭への啓発活動を行っていく必要がある。	
18-1	防犯対策の強化	一層の拡充が必要
所見	本町でも空き巣や窃盗等の被害が発生しており、引き続き町民への防犯の注意喚起を図るべきである。また、防犯灯のLED化が促進されるよう引き続き町内会への働きかけを行っていただきたい。	
18-2	災害対応力の強化	概ね良好
所見	災害対応力の強化については、引き続き積極的に取り組んでもらいたい。特に水害時対応については早めの取り組みを行うべきであり、地域住民に対する災害情報の伝達は確実に行うよう努めていただきたい。	
19-1	地域特性に応じた土地利用の推進	一層の拡充が必要
所見	定住人口増加のため、住環境の整備を含め、今後も住宅団地や産業団地などの地域開発を進めていく必要がある。	
21-1	活力ある農業生産活動の育成と支援	概ね良好
所見	町単独の補助事業もあり全体的に良好であるが、新規就農者への支援やキラリポシの情報発信について、さらに拡充が必要である。	
21-2	魅力と成長力に富んだ商工業活動の振興	一層の拡充が必要
所見	事業の執行については景気の動向に左右されるところがあるが、今後も継続が必要であり、各種施策について制度の拡充と周知を図るべきである。	
22-1	交流基盤の再構築	一層の拡充が必要
所見	今後も情報発信や改修事業をすすめ、町の交流拠点として、さらなる利用者の拡大を目指した魅力ある施設整備等を行う必要がある。	

分類番号	施策項目	外部評価結果
22-2	交流基盤の強化	一層の拡充が必要
所見	今後も交流人口の拡大に向け、各種団体や組織等との連携をさらに強化しながら取り組みを進めるべきである。	
23-2	協働の推進	一層の拡充が必要
所見	町内会が活性化するための手段として、事業が使いやすいものとなるよう事業の見直しと拡充を図るべきである。	
24-1	行政サービスの質的な向上	概ね良好
所見	セキュリティ対策を強化していただきたい。また、学校給食の自校調理方式は三川町が誇るべき施策であるため、引き続き実施していただきたい。	
24-2	人材育成と組織・機構の見直し	概ね良好
所見	来庁者への対応については丁寧で明るい対応に努めていただきたい。また、住民要望に対する方向性を迅速に提示できるよう心がけていただきたい。	

<外部評価経過>

平成30年8月23日（木）午後1時30分から、三川町役場 講堂において、三川町行財政改革推進懇談会を開催し、その後、分科会に分かれて大会議室、第2会議室、第3会議室及び監査室において、委員それぞれの所管する施策項目について評価し、所見を集約したものである。